

# 牡丹に雷龍

ほたてにぶらり  
いもじり

上



Batta

# 牡丹に雷龍

ぼたんらいりゅう

下

Batta



おはようございます  
私、稲荷狐の  
牡丹と申します

稲荷神に仕える  
眷族として  
神社で働いて  
いるのですが…



いまいち  
パツとしないと  
言うか…





牡丹

に

雷龍



牡丹  
ちやくん

うわっ

師匠

ばばあさん

牡丹



勤務中に  
何を读んでるの  
かなあ？

バキッ

THE INARI



うそつけ!

これは  
勉強の本です

千々千...

千々千...



これは...  
あの...

カマ

THE INARI

ROCK BAND



なにこれ  
稲荷の情報誌？  
どれどれ

ああ  
ダメですつ  
てば！

ひょい  
ああ  
あ

その名は  
**雷龍**  
らいりゅう

伏見稲荷直属の  
対鬼迎撃部隊：  
各方面の武術系稲荷  
から手練を選抜し  
結成された精鋭集団：  
その純戦闘力は  
稲荷軍最強と謳われる

意外も何も！  
当たり前  
じゃないですか

…ふーん  
お前がこういうのに  
興味があるとは  
意外だな



稲荷に仇なす者を  
徹底的に叩く  
正義のヒーロー！

特に最年少エースの  
菊水さまなんて

凍とした瞳が  
ご機嫌麗しゆう  
(以下略)

私も雷龍に入って  
菊水さまのように  
なりたいんです

ははは……

夢があつて  
いいけどな



雷龍つてのは  
稲荷軍の中でも  
屈指の入隊難度を  
誇る精鋭部隊だぞ

えー！  
武術の武の字も  
できないお前が  
入るのは  
相当難しいな



そんなこと  
言わないで  
下さいよ

いが……

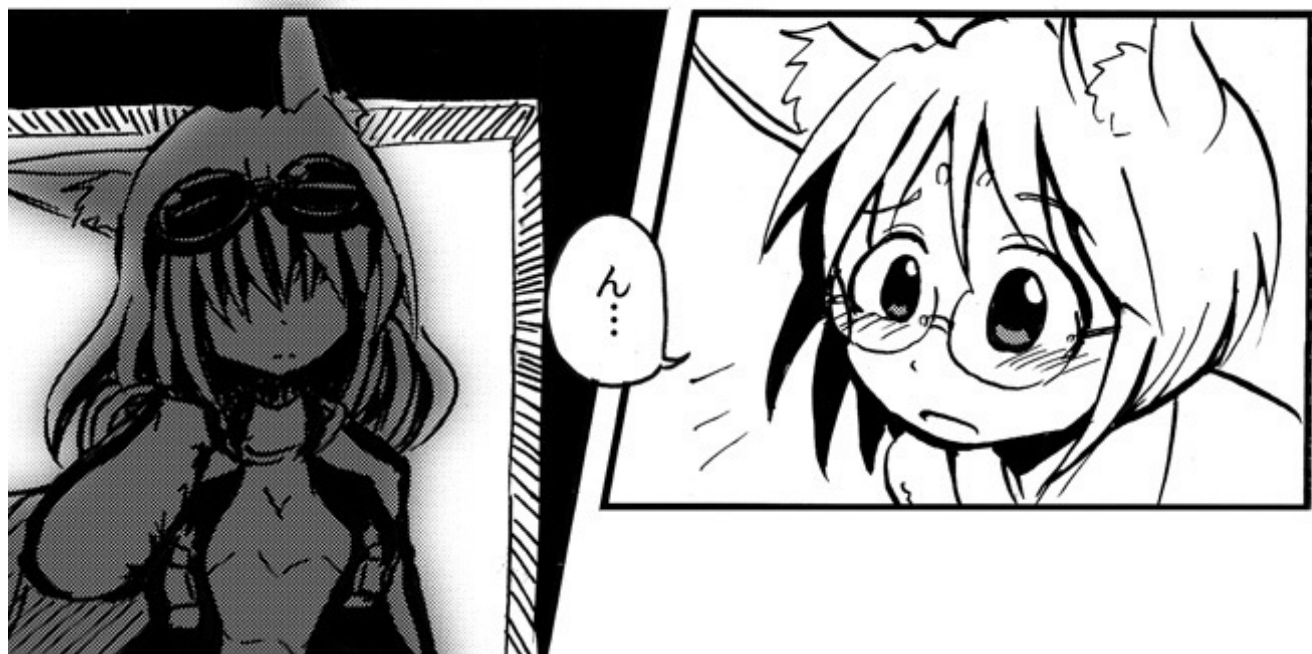
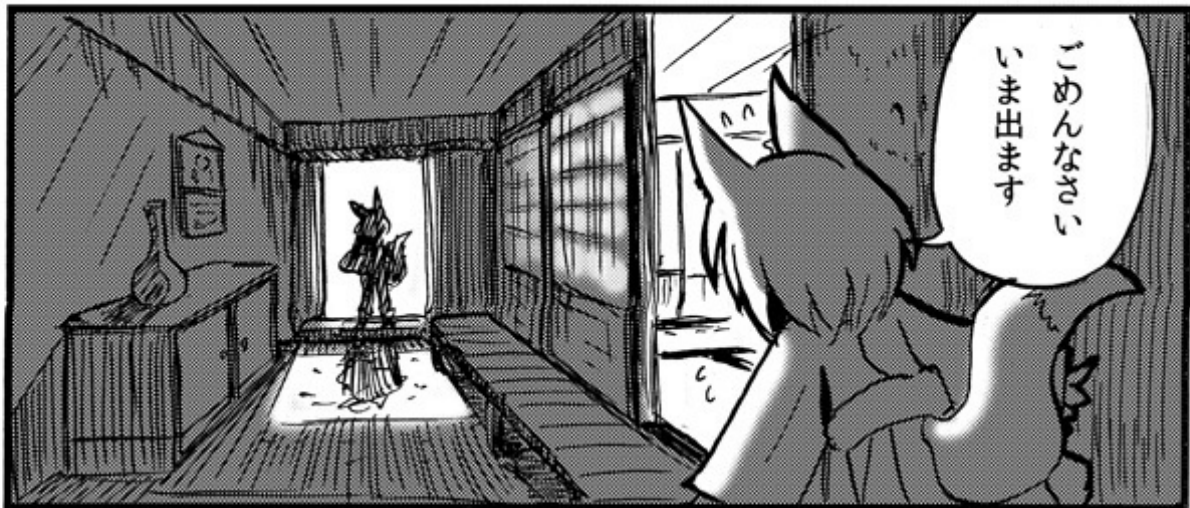
うちだつて  
武術系なんだから  
お前がその気なら  
稽古を付けて  
やってもいいぞ

え……  
私は……

たじ……









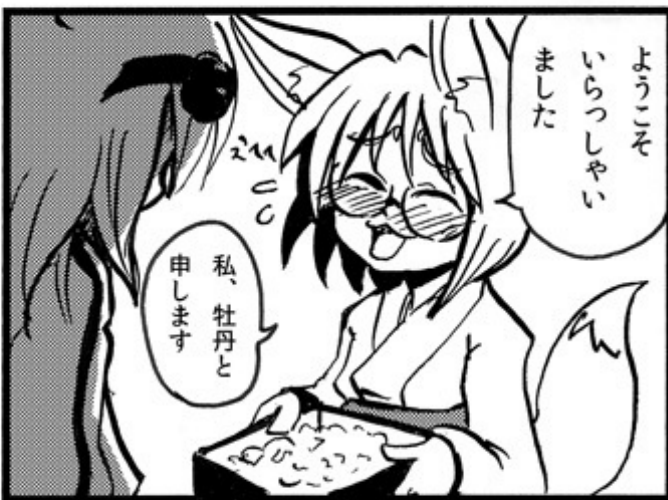
うそ  
…!



雷龍の最年少エース  
菊水さまー!?

どうして  
うちの神社に











雷龍は君の  
考えているような  
やさしい組織  
じゃない

悪いことは  
言わないから  
考え直せ



うう…

考え直せって  
言われたあ…



私だって  
…  
…



やっぱり本物に  
言われると  
辛いのかあ…



なりたいたい  
思ってるだけじゃ  
ダメなんだって

ちゃんと  
分かってる  
つもりなのに…









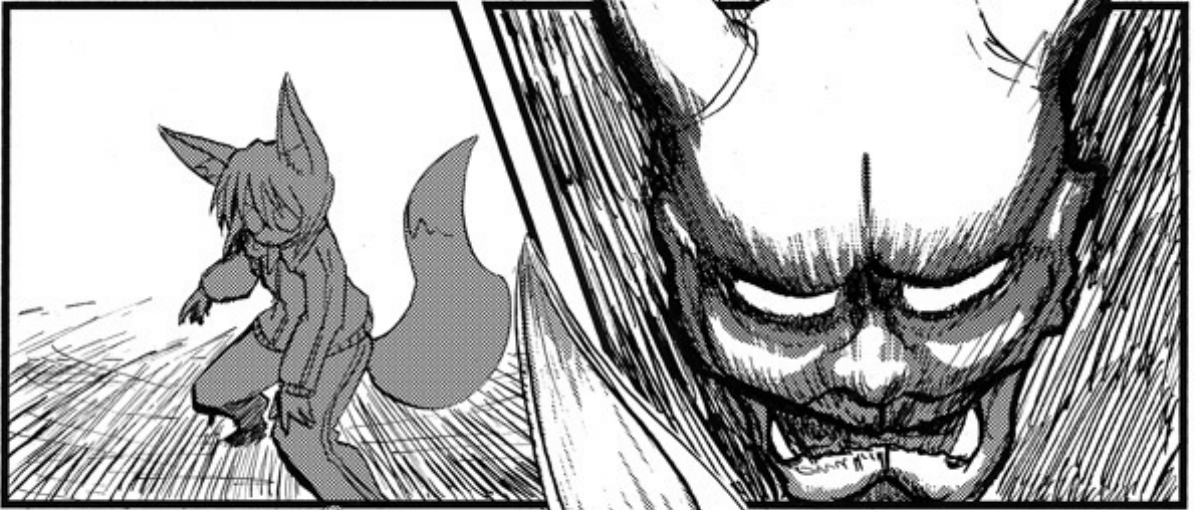
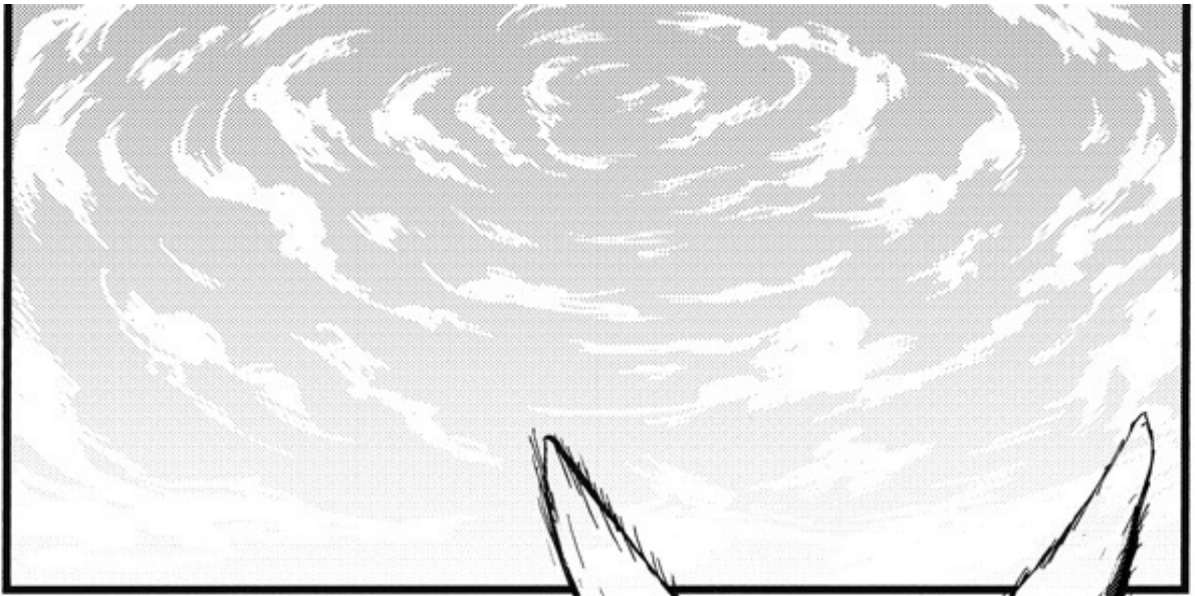


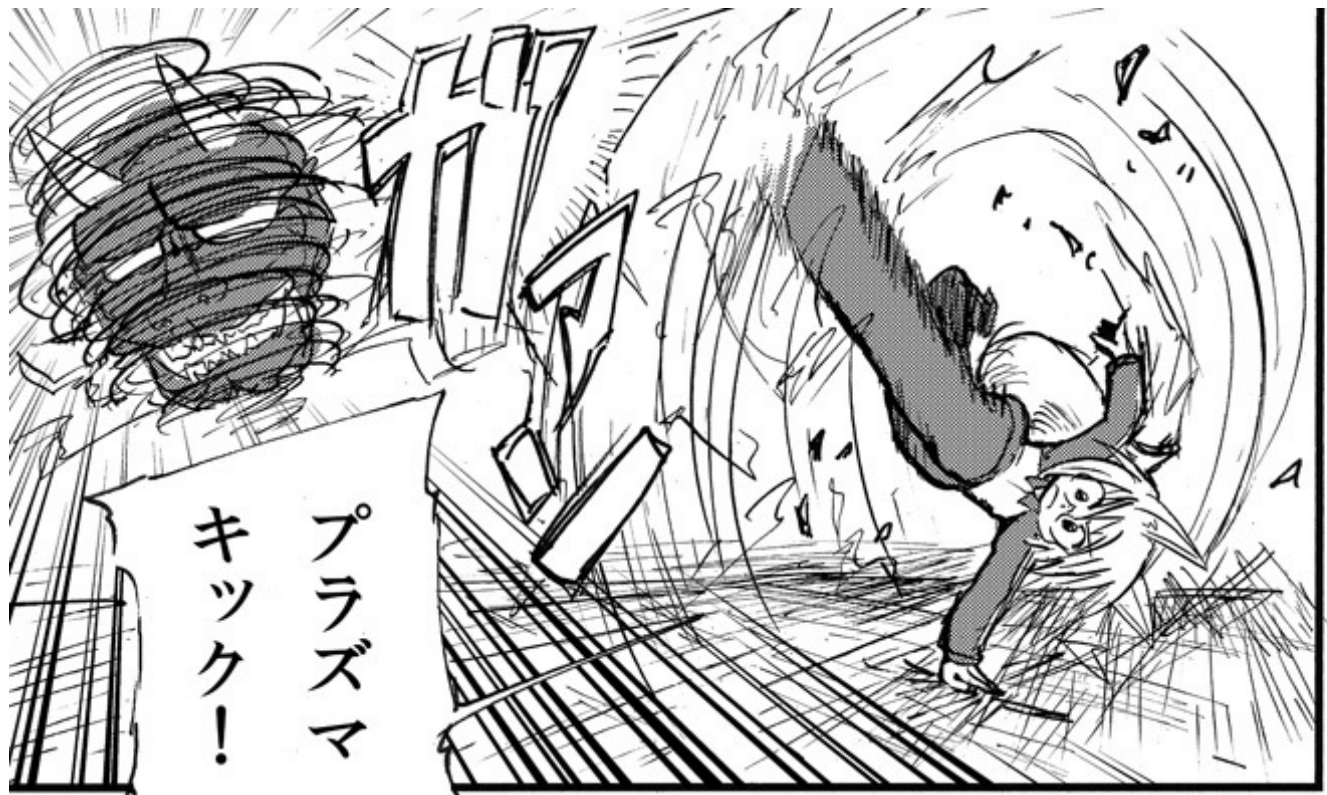
# 牡丹に雷龍

Bottan with Rairyu

†

Batta





プラズマ  
キツケ!



いいんじゃないの

うん



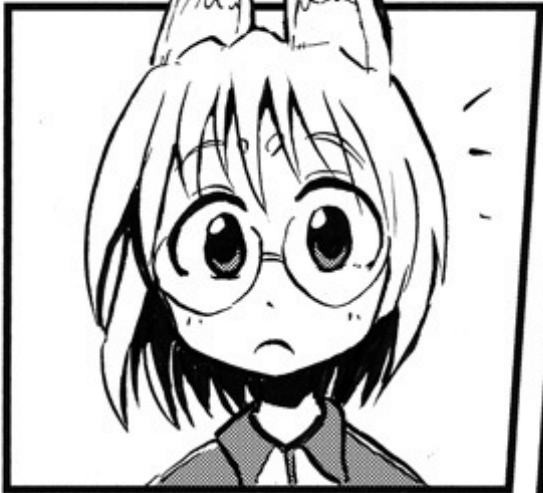
ありがとうございます  
ござります

三ヶ月目にしちや  
上出来だよ  
牡丹



…普通

ええっ  
そんなあ  
がんばったのに



なんですか  
それ



せーん  
ぱーい



まのぶろ  
でしたあ?



鬼の襲撃情報



妖怪はないちもんめ。稲荷神社を何度か襲っている

ここ数ヶ月は大人しかったようだけど最近また被害があったらしい



これが鬼ですか

なんだか思ってたより弱そうですね

これなら私でも倒せそうです



鬼は見た目以上に強い…君が勝てる相手じゃない

そんなの…私修行して強くなりましたし

今の私なら少しくらいは…

通用しない

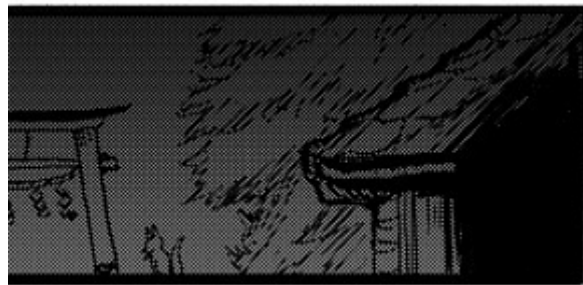
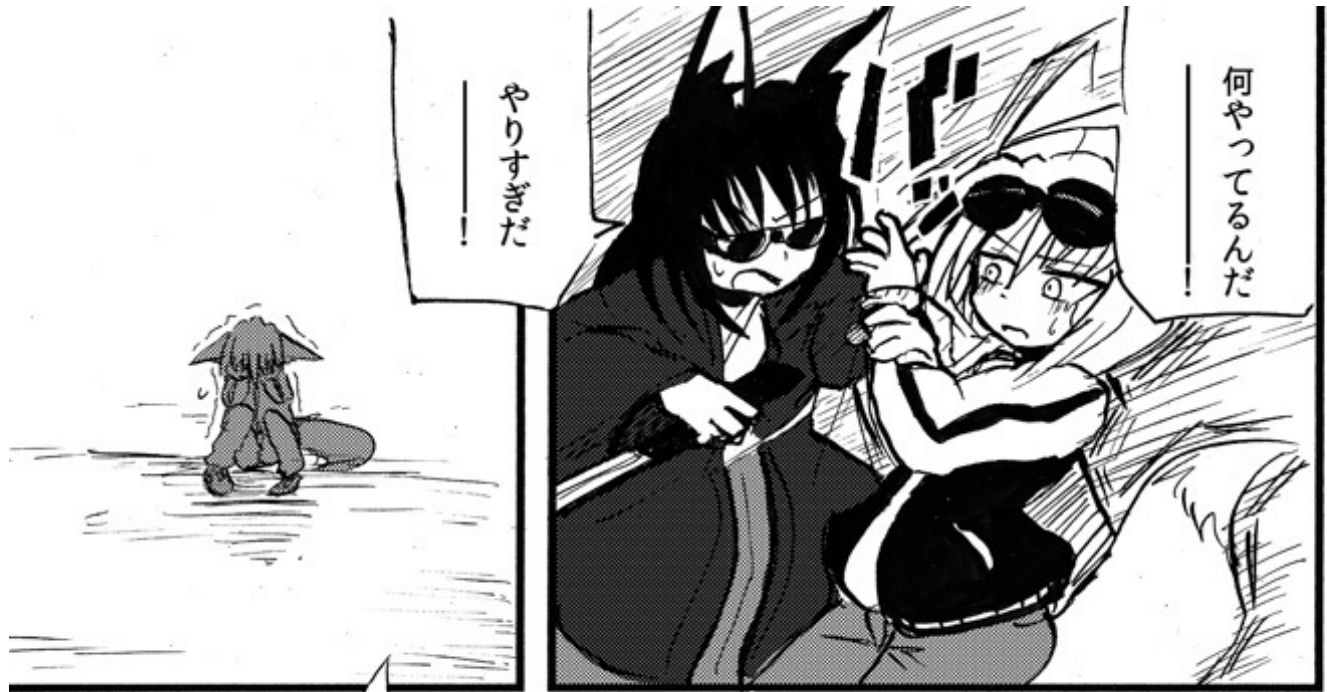








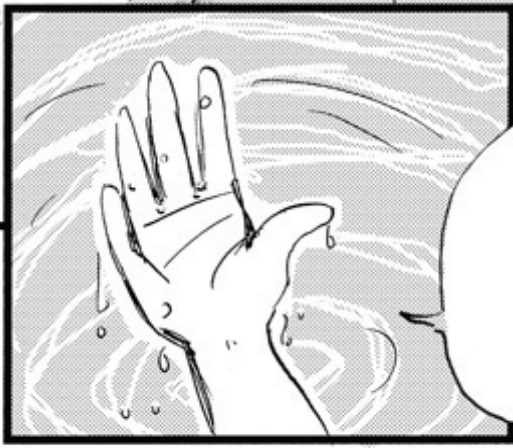






先パイに  
怒られちゃった

やっぱり私  
考え方が  
甘いのかなあ  
……



修行して  
強くなったと  
思ってたけど



きっと私には  
まだ足りないもの  
だらけなんだ……



一体何が  
ダメなんだろう



先パイ!

...いや  
すまない



きゃっ



あ...  
牡丹...



調子に乗ってしまつてその…  
ごめん なさい

あ…  
いえ…  
あれはえつと  
私が…



昼間は…その  
少しやりすぎた  
悪かった…



全然  
平気です

そうか…  
良かった…



すまないが  
背中を流して  
くれないか

えっ  
はい

先パイの  
はだか!  
先パイの  
はだか!



それでは  
お言葉に  
甘えて…

あ…



先パイの  
はだか!

カコーン



どうした

カ  
ラ  
ー  
ム

牡丹？



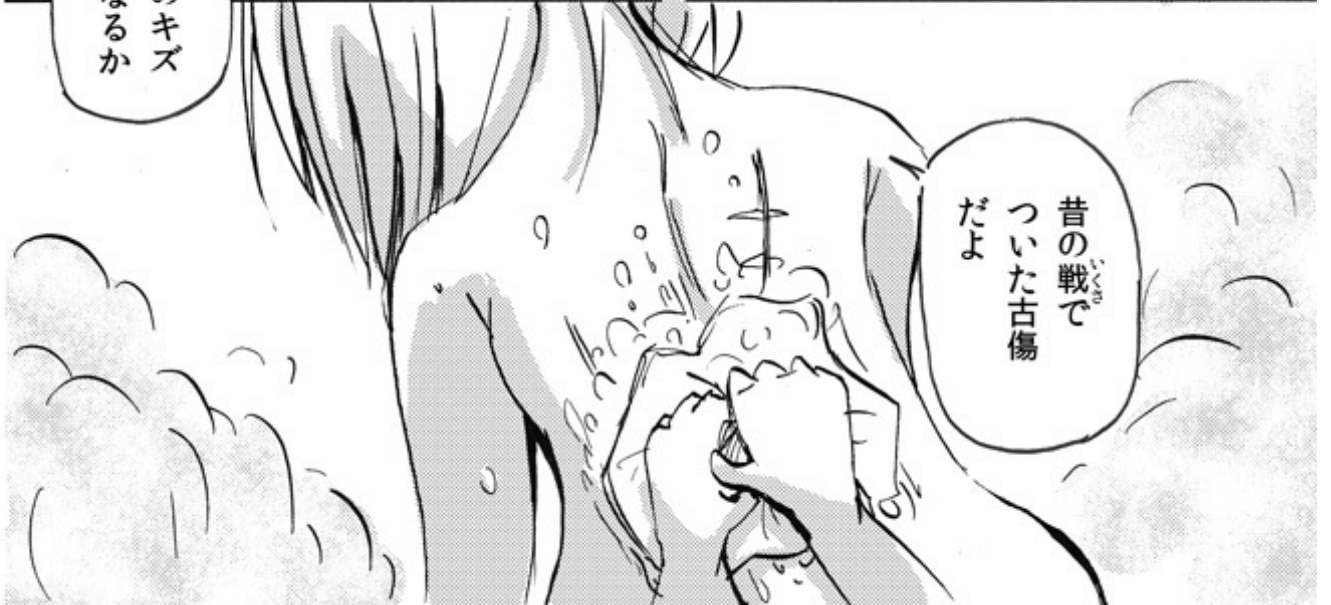
先パイの  
身体…

キズ  
だらけだ…



背中  
のキズ  
気  
なる  
か

牡丹…  
はいっ



昔の戦で  
ついた古傷  
だよ



戦うとは  
つまり…  
そういうことだ

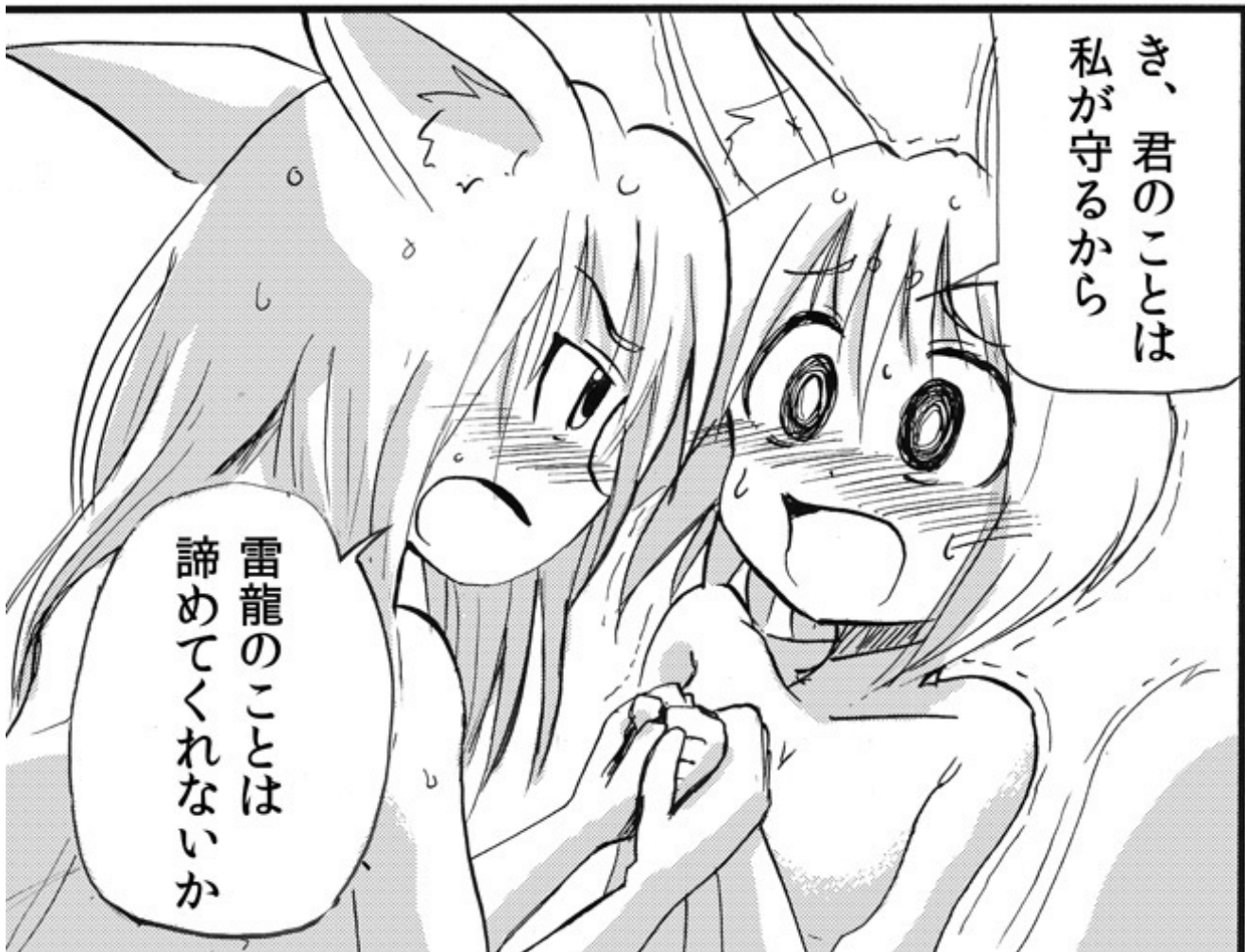


戦えば当然  
ケガもするし  
もしかすると  
死ぬかもしれない













雷龍に  
入った

だから



大切なものも  
……  
大切なひと  
もかも  
守れなくて  
悔しかったんだ

ザッパ



強くなつて

大切なものを  
守りたかつた  
んだ

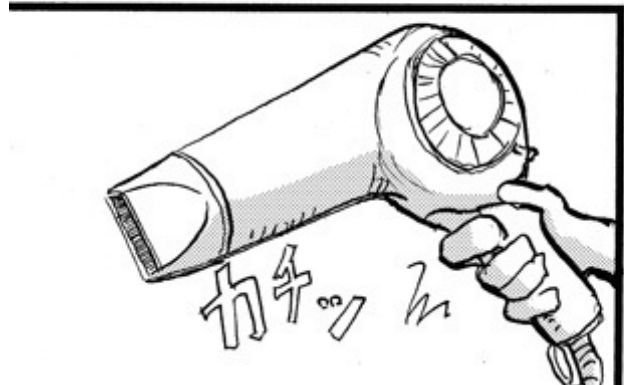


牡丹 君のことを  
私に守らせてくれ

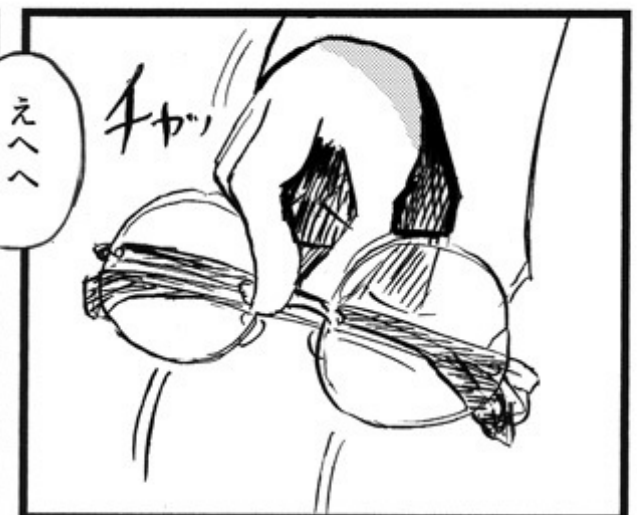
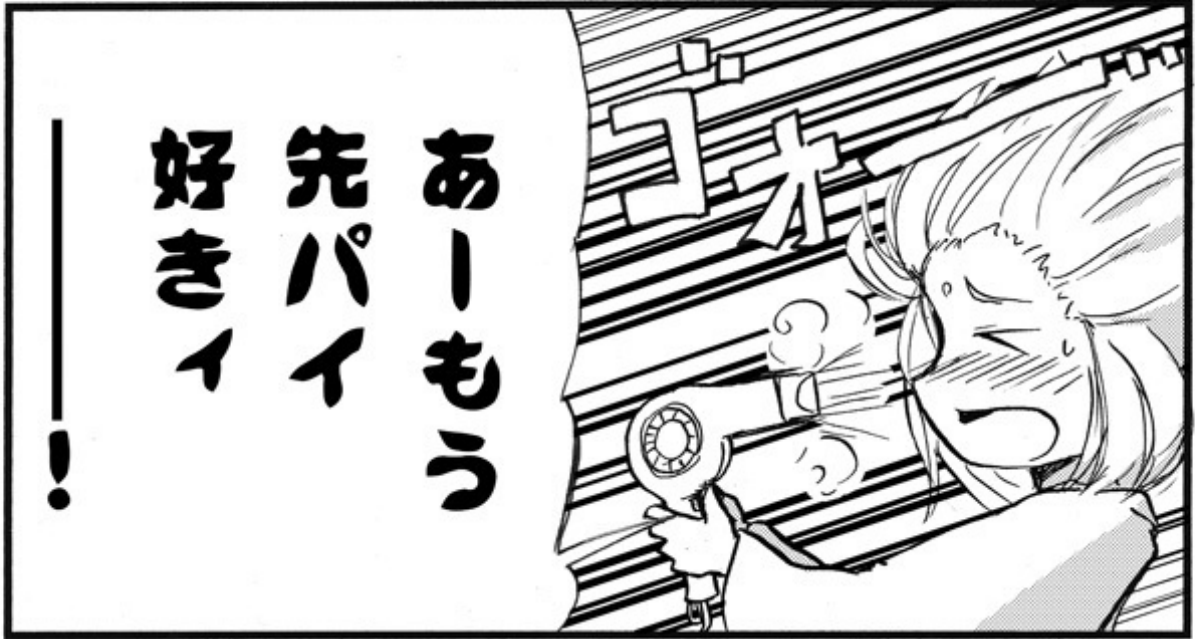
わ…あ…

キョ

…



カチン



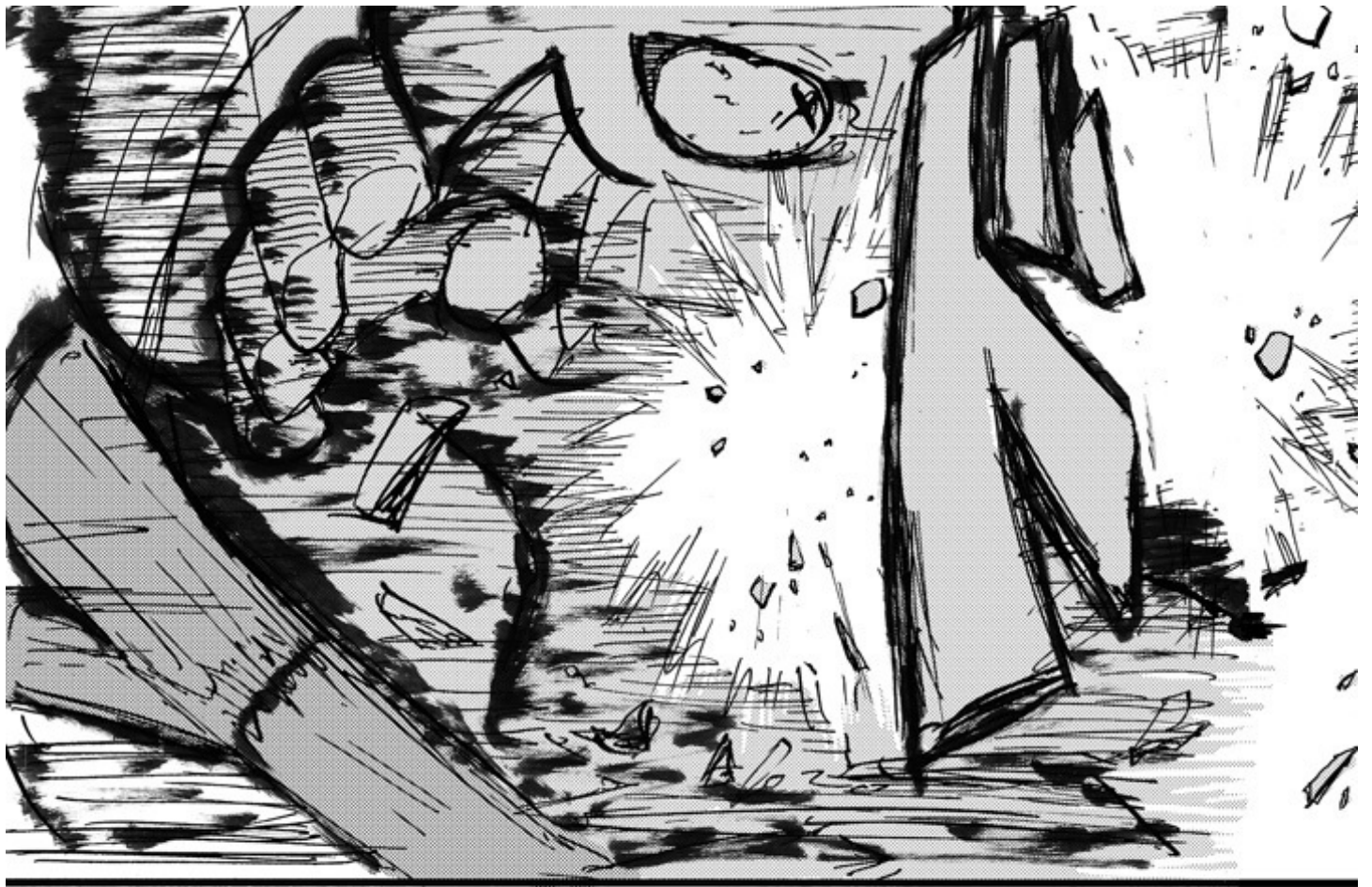






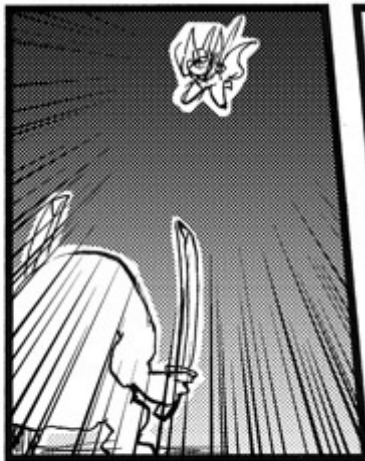








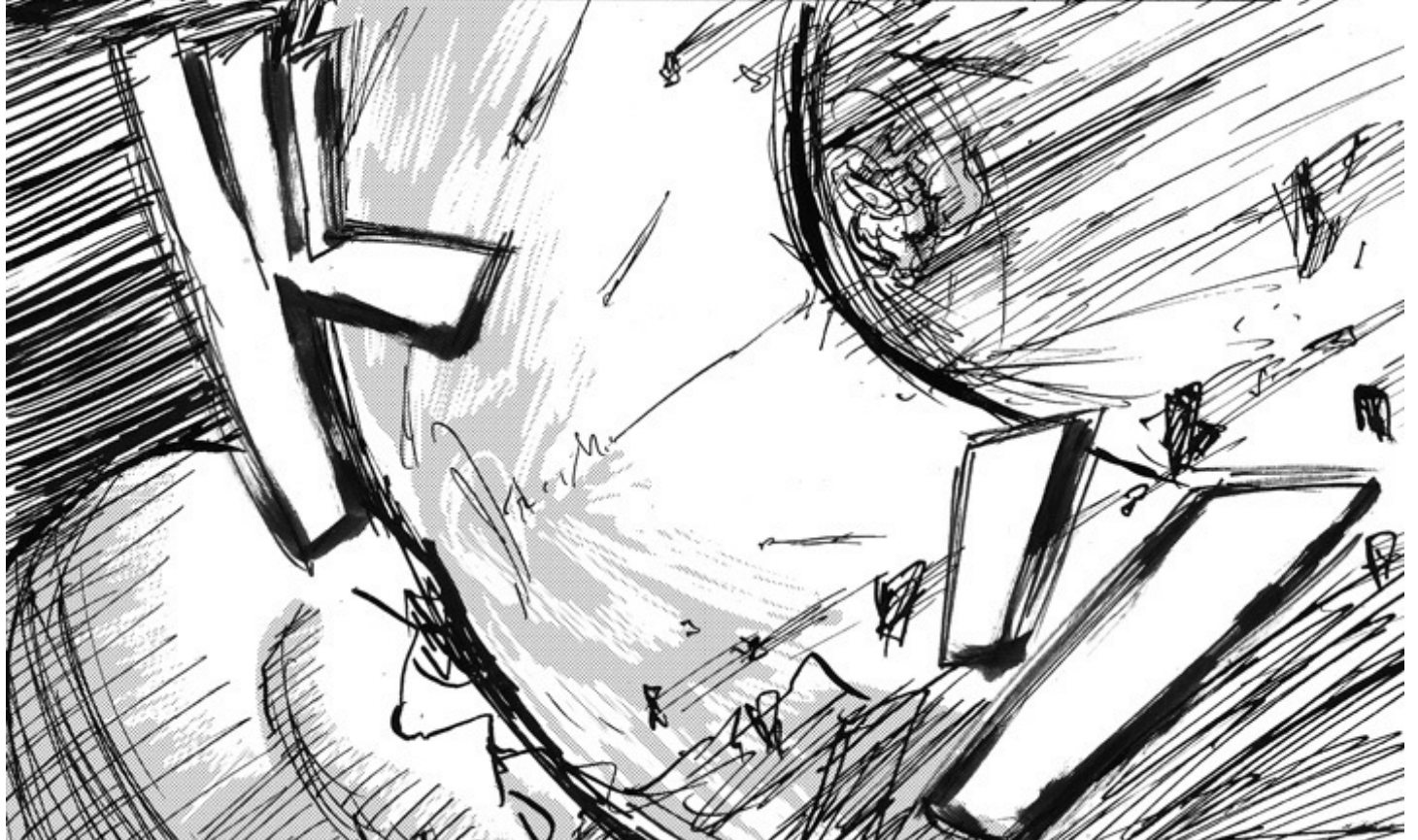
一人では  
危険です





雷龍咆哮震  
らいりゅうほうこうしん







お前わしのこと  
舐めてたやろ







先パイ!



牡丹!?







先パイの身体は



私が守ります



たとえ私が  
キズだらけに  
なっても

もうこれ以上  
傷が増えない  
ように

キズだらけ  
だから



もう  
絶対に

キズつけません

真・雷龍  
ほうこうしん  
らいりゅう  
咆哮震



なんやこの  
術は

こんな狐のできる  
芸当とちやうで

お前一体  
何なんや



うおおお  
おおお




こ、こりや  
あかんわ

今日が  
わしの




命日  
やわー！



先パイ  
……

私やっとな  
分かったん  
です



戦うためには  
大切なもの……

守るべきものが  
必要なんだって



先パイが私を守ってくれるなら

私は先パイの背中を守ります



牡丹!

菊水!



だから...私も...雷龍に...

牡丹!



どうした大丈夫か

しっかりしろ!



十年後



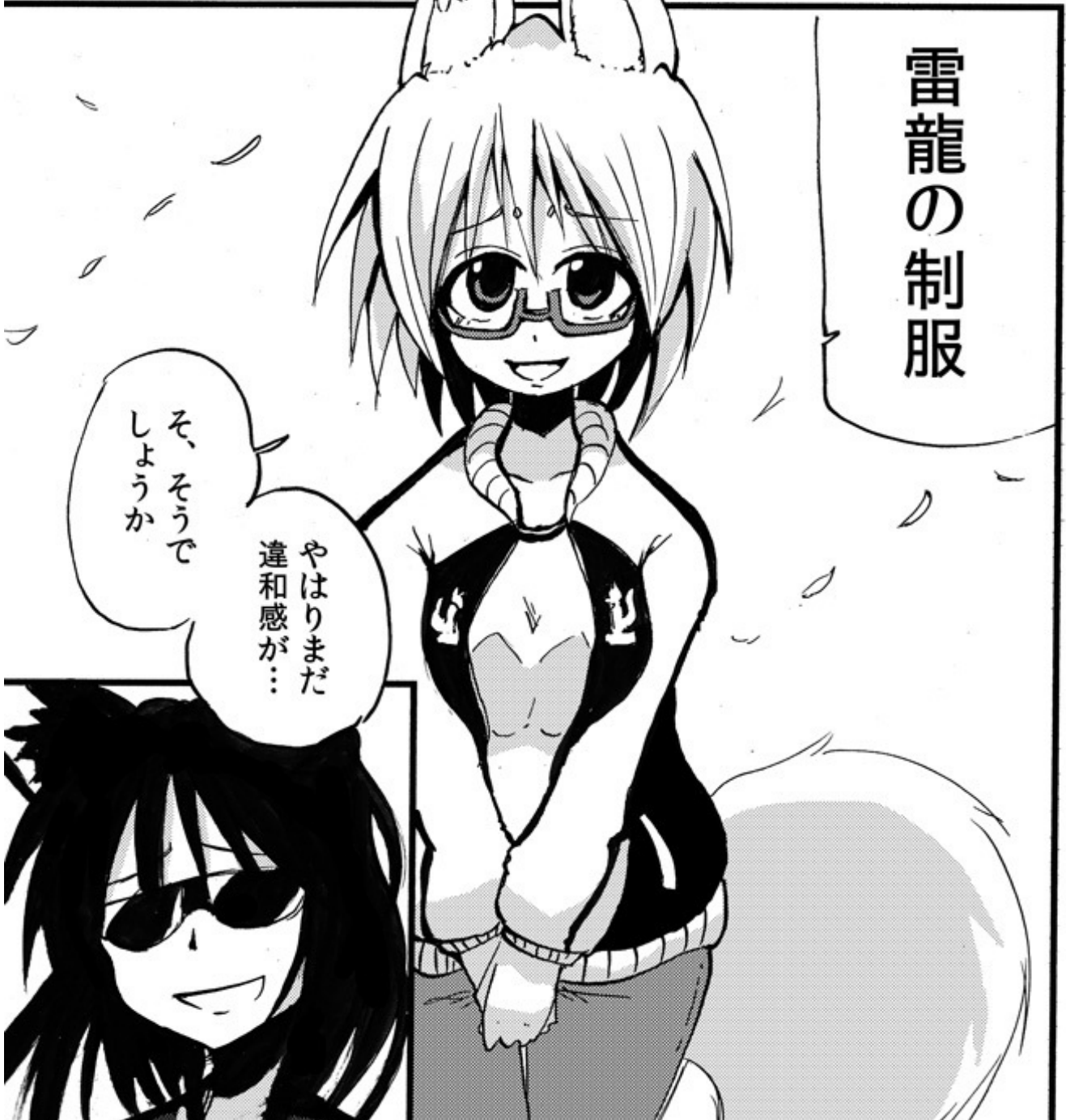




意外と  
似合う  
じゃないか



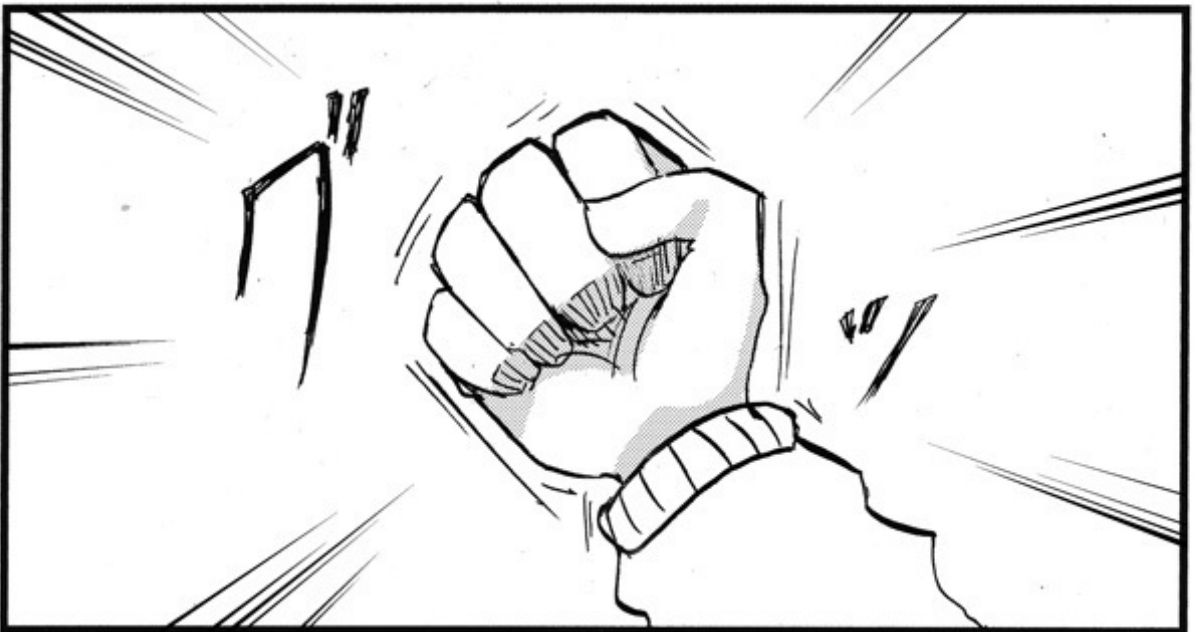
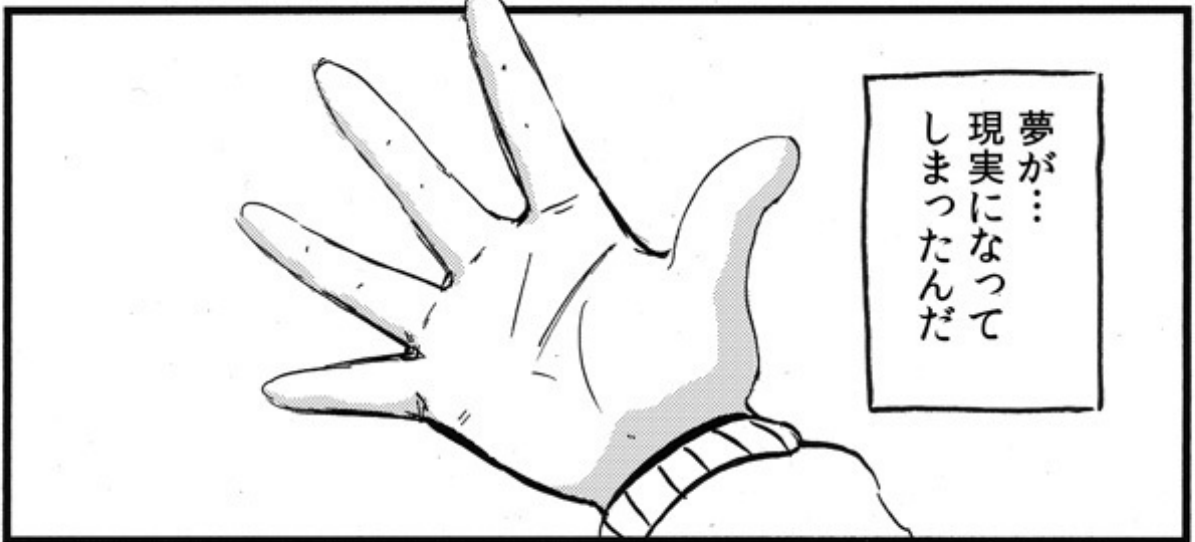
あれからもう  
十年だものな



雷龍の制服

そ、そうで  
しょうか

やはりまだ  
違和感が…





遅  
か  
つ  
た  
か

案  
外



先パイ…  
私、今なら  
分かるんです



入隊  
おめでとう

牡丹



あの日の自分が  
本当に甘かった  
ことを

十年です  
あの日から

ここまで来るのに  
十年もかかって  
しまつて…

なんて甘い考えを  
していたんだろうって…

あの日の方が  
情けなくて…

恥ずかしくて…

ずっと…

ずっと怖かったんです



私…こんなことで  
先パイとの約束

果たせるん  
でしようか



よくがんばったね  
牡丹…

強くなったね

ああ…



涙は  
みつともないぞ  
牡丹



一人前の大人が  
メソメソする  
もんじゃないよ

ここが  
ゴールじゃ  
ないんだろ



ああ――

そうか――  
そうですよね

はい

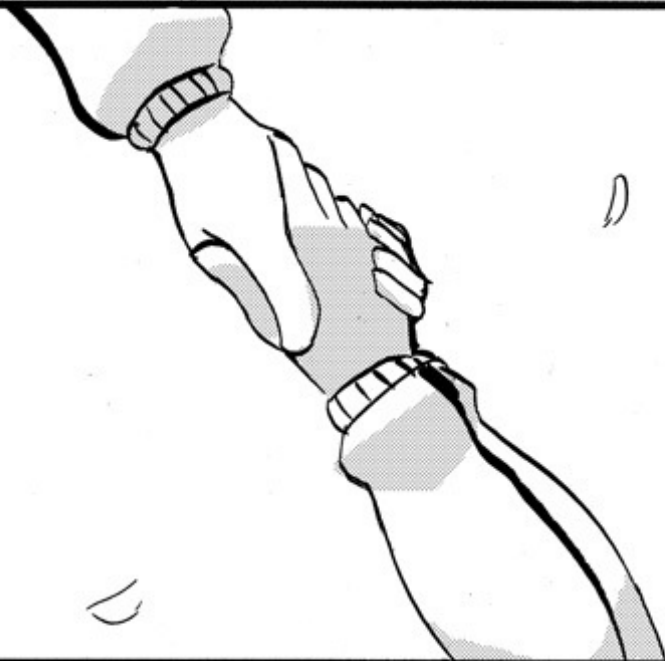
あの時は  
ここがゴールなんだって  
そう思っていました

でも  
そうじゃないんですね



私たちは

これからだから





## 牡丹に雷龍

<http://p.booklog.jp/book/53367>

著者 : Batta

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/batta0428/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/53367>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/53367>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー ( <http://p.booklog.jp/> )

運営会社 : 株式会社ブクログ